

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2025年 2月19日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分Ⅰ： 該当なし

区分Ⅱ： 該当なし

区分Ⅲ： 該当なし

その他： 3 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	補機冷却海水系電解鉄イオン供給装置海水ポンプケーシング部において、ポンプ起動時に海水の漏えい(滲み程度)が認められたため、当該ケーシング部を点検・修理。	GⅢ	2月18日
2	4号機	残留熱除去機器冷却系海水ポンプ(B)軸封部において、点検後の試運転時に軸封部の温度上昇(約40℃程度で安定していたが60℃まで上昇)が認められたため、当該軸封部を点検・修理。 なお、本件は機器の故障ではなく、点検時の想定事象であることから、グレードは「対象外」とする。	対象外	2月14日
3	3・4号廃棄物処理設備	換気空調系廃棄物処理建屋冷凍機(B)圧縮機B1シリンダーヘッドガスケット(パッキン)部において、窒素ガスによる加圧漏えい試験時に、窒素ガスの漏えいが認められたため、当該ガスケット(パッキン)を交換。	GⅢ	2月17日